

10月度 例会 個人 山行報告書			報告者	館谷	参加 メンバー	CL 館谷 山口、根芝
			報告日	10/30		
山域	大峰山	山行日	2016/10/29-30			
山名	八経ヶ岳					
山行目的	紅葉の山を楽しむ		コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先 集会: 12 山行: 1 リーダー 原紙: 集 会担当者	<p>※ルート図は3ページ目に記載</p> <p><山行報告></p> <p>日本百名山の一座であり、近畿最高峰の大峰山の主峰・八経ヶ岳。ルートはいくつかあるが、今回はその中でも最も難しく、厳しいと言われる双門ルートを選んだ。神経をすり減らすような数々の難所、100を越える鉄梯子、不明瞭な沢筋のルートファインディングなど、噂に違わぬ難コースであったが、遡行し終えた時の達成感もひとしおであった。</p> <p>・熊渡(くまわたし)～釜滝 登山口の熊渡から林道を歩き、途中で弥山川に下りる。最初は伏流水となっており水はない。赤テープに導かれ進む。釜滝が美しい。</p> <p>・釜滝～吊橋 きわどいへつりに手こずったり、まぎらわしい踏み跡に惑わされたり、大幅に時間を費やす。橋が多くかかっているが、崩落していたり、腐食の激しいものが多く、緊張しながら渡る。</p> <p>・吊橋～テラス 絶え間なく垂直の梯子が現れる。テラスからは日本の滝百選にも選ばれる、双門の滝が見える。滝までの距離が少し離れているが、それでもなお圧倒されるような迫力がある。</p> <p>・テラス～狼平避難小屋 高巻きと沢沿いを繰り返すが、ルートファインディングが非常に困難。赤テープを頼りに進むが、右岸左岸前方と3つ見つけた時は頭を抱えた。崩落で跡形もなく消えたという河原小屋は、文字通り跡さえ見つけることができなかった。幾度となく徒渉を繰り返し、名所?のオーバーハングした岩をぶら下がる鉄梯子で越え、暗くなりかけた頃に狼平に到着した。</p>	10/29(土) くもり 10/30(日) 晴れ	08:40 熊渡 09:50 釜滝 11:45 吊橋 (一ノ滝展望) 13:00 仙人岨前のテラス(双門の滝展望) 17:00 狼平避難小屋	05:40 狼平避難小屋 06:40 弥山 07:25 八経ヶ岳 07:50 明星ヶ岳 11:40 熊渡
確認 (リーダー) 館谷	以下、今後チャレンジする人へのアドバイス ・山と高原地図は最新のものを使うこと。2013と2016では所々ルートが変わっていた。 ・ただし、最新の地図でも実際のルートとは若干異なるため、過信しないこと。			
作成 (報告者) 館谷	・まぎらわしいテープや踏み跡が多数あるが、入念に下調べしておけば回避できたであろうものもあった。Webで最新の山行記録をよく調べておくこと。 ・コースタイムが短めな設定なため、余裕を持って行動すること。(2ページ目に詳細)			

<感想>

前々から狙っていた弥山・双門ルート。登山の総合力を高いレベルで求められる、噂に違わぬ難コースでした。(14時くらいからはビバークポイントを探しながら登っていました。)

いざという時のためのツェルトやロープがあったからこそ余裕を持って行動できたと思います。それでも緊張しましたが。二日目は奥深い大峰の絶景とよく整備された歩きやすい道に感動しました。次回は日帰りでも来てみたいです。(館谷)

双門ルートは精神的に疲れた、それにつきますと思います。

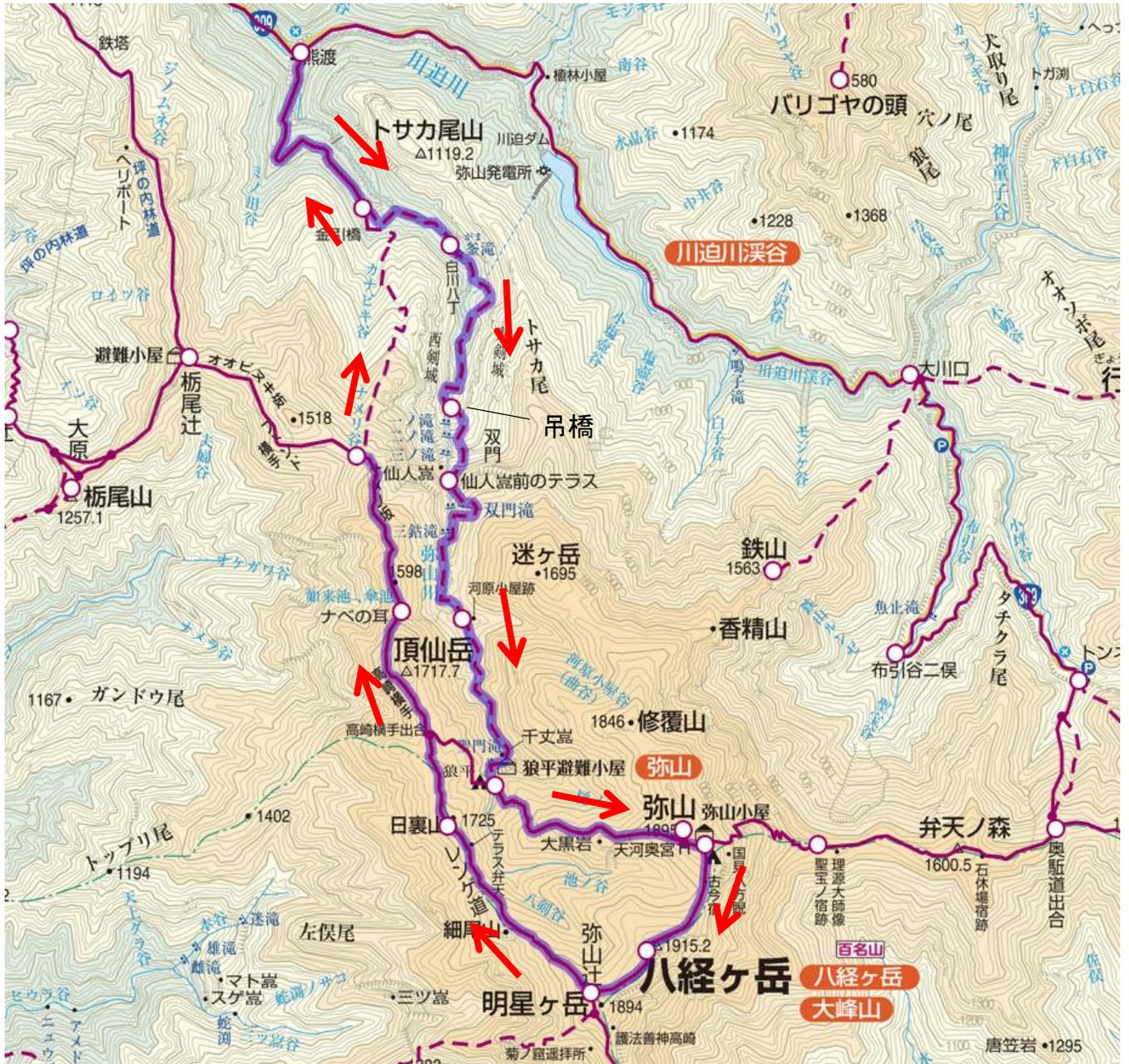
- ・何度も来る渡渉ポイント
 - ・今にも崩れそうなハシゴの連続
 - ・登山道の崩壊による難しいルートファインディング
- さすが関西屈指の難コースということを実感しました。

ただ奥深い秘境感を満喫でき、自分の登山レベルも再確認できたということもあり、非常に意味のある山行になったと思います
企画してくれた館谷さんに感謝！(山口)

これまでの山人生で一番の難関コースでした。途中、本気でビバークの覚悟をしていました。とはいえ、難しいルートファインディングを迫られながら長時間緊張を保って行動するという経験ができ、今後に繋がる有意義な山行になったと思います。
企画してくれた館谷さんに感謝！
P.S. 双門の滝は素晴らしかったです。(根芝)

ルート	行動時間	累計	CT	累計	CTとの差	累計
熊渡～釜滝	1:10	1:10	1:00	1:00	+0:10	+0:10
釜滝～吊橋	1:55	3:05	1:00	2:00	+0:55	+1:05
吊橋～テラス	1:15	4:20	1:20	3:20	-0:05	+1:00
テラス～ 狼平避難小屋	4:00	8:20	3:00	6:20	+1:00	+2:00

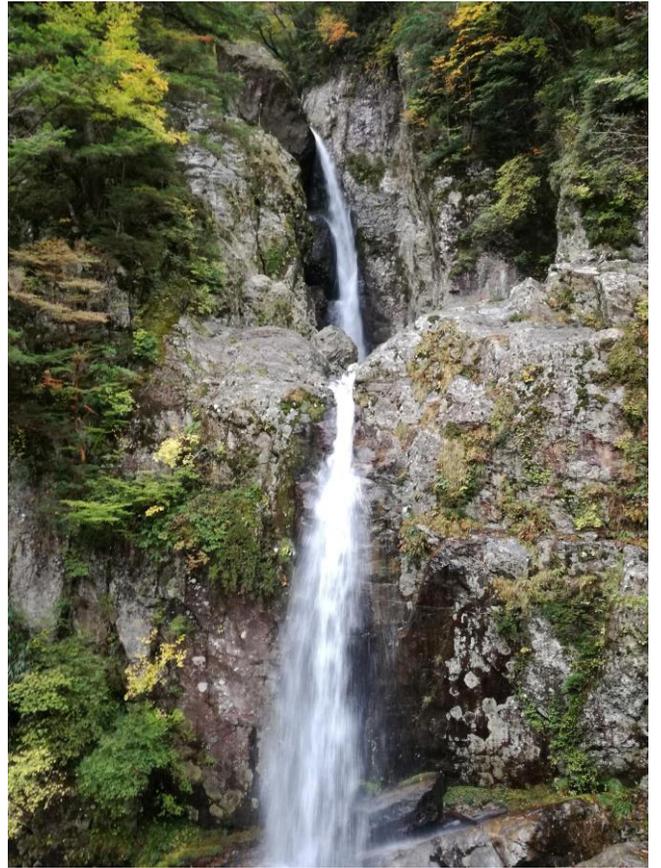
コースタイムとの比較



ルート図

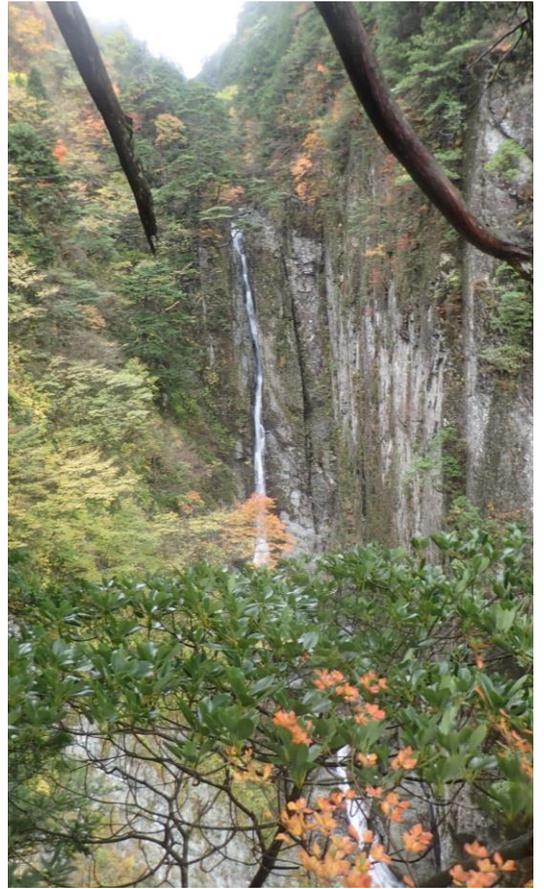


釜滝(がまたき)



一ノ滝・二ノ滝





双門の滝





噂の吊り梯子



